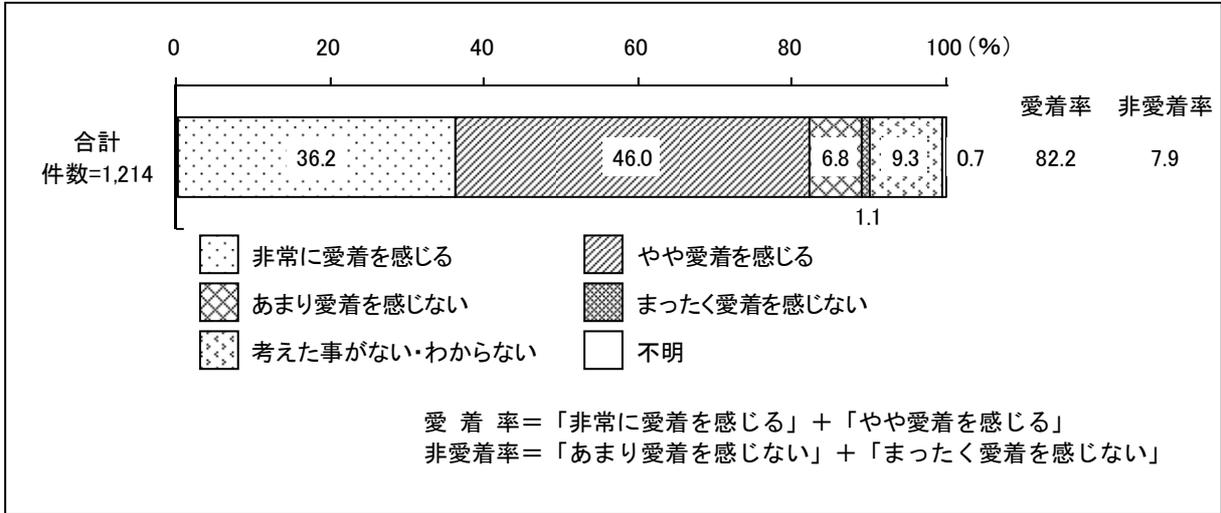


1 日常生活について

(1) 三島市に対する愛着

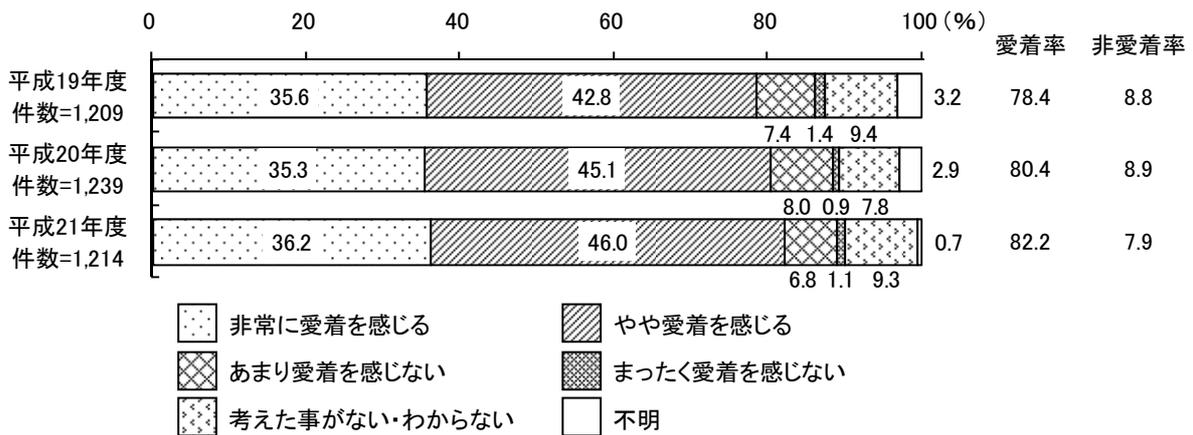
問1 あなたは、三島市に愛着を感じていますか。 【1つに〇】

“愛着率”は82.2%



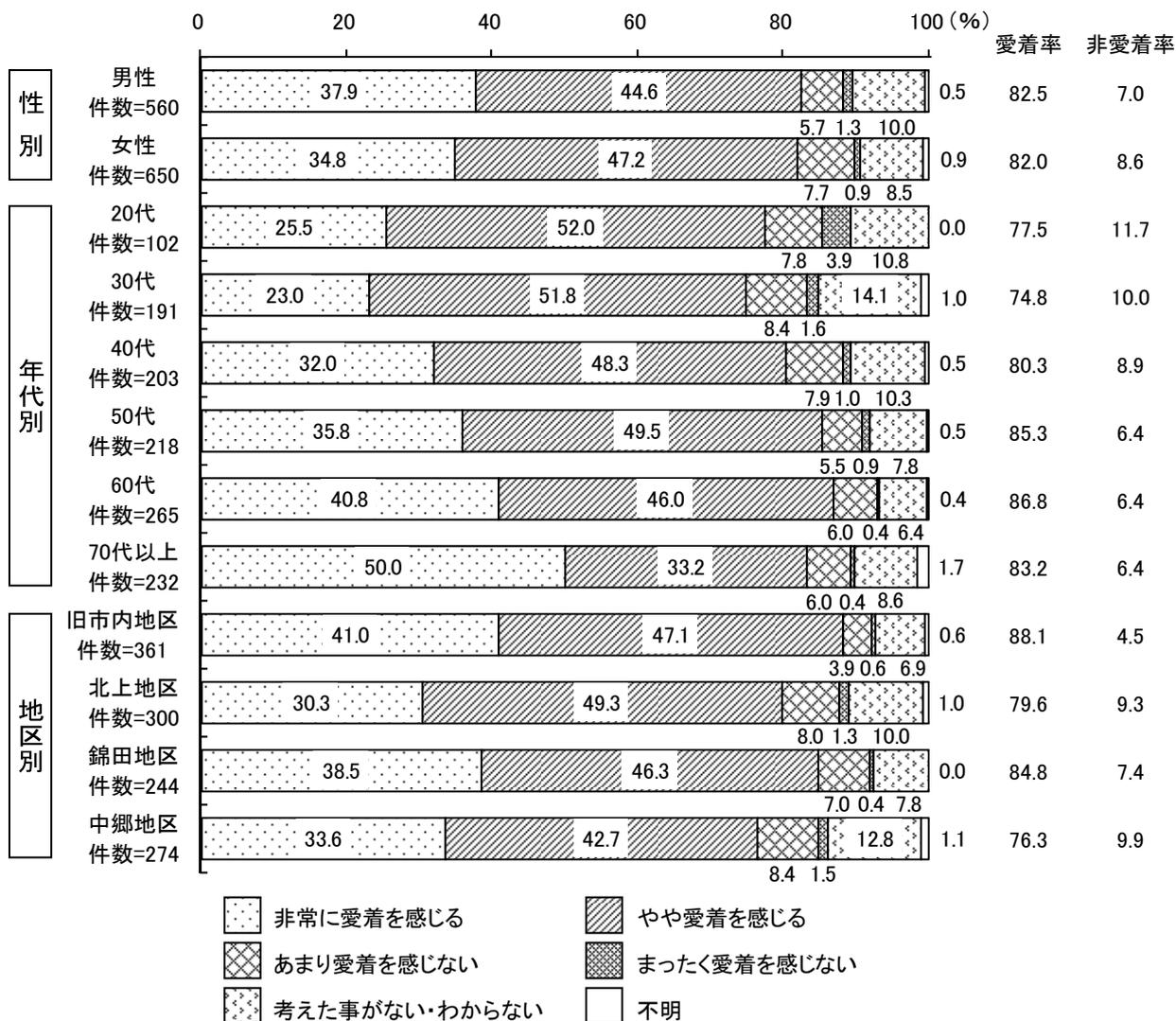
三島市に対して愛着を感じるか聞いたところ、「非常に愛着を感じる」(36.2%)と「やや愛着を感じる」(46.0%)を合わせた“愛着率”は82.2%、一方、「あまり愛着を感じない」(6.8%)と「まったく愛着を感じない」(1.1%)を合わせた“非愛着率”は7.9%であった。また、「考えた事がない・わからない」と9.3%が回答した。

時系列比較



“愛着率” (82.2%) は前回調査 (80.4%) 及び前々回調査 (78.4%) に比べ増加し、8割台となっている。一方、“非愛着率” (7.9%) は、過去2年の調査 (H19年度: 8.8%、H20年度: 8.9%) と比べわずかに減少している。

属性別



性別

男女の“愛着率”（男性：82.5%、女性82.0%）に大きな差は見られなかったものの、「非常に愛着を感じる」では男性（37.9%）が女性（34.8%）を上回っている。

年代別

“愛着率”は、60代（86.8%）、50代（85.3%）、70代以上（83.2%）、40代（80.3%）で8割台となった一方で、20代（77.5%）、30代（74.8%）では7割台となっており、概ね年代が上がるほど高い傾向となっている。「非常に愛着を感じる」は、30代以上で年代が上がるほど割合が増えているが（30代：23.0%、40代：32.0%、50代：35.8%、60代：40.8%、70代以上：50.0%）、20代（25.5%）では30代を上回る逆転が見られる。

地区別

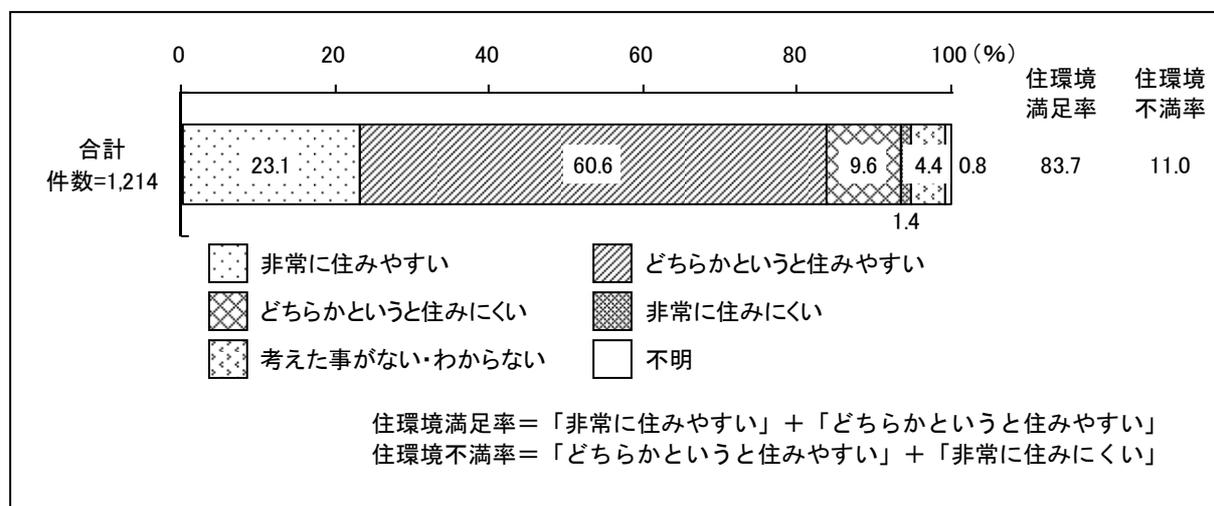
“愛着率”は旧市内地区（88.1%）で最も高く、次いで錦田地区（84.8%）、北上地区（79.6%）、中郷地区（76.3%）の順となっている。一方、「非常に愛着を感じる」では“愛着率”と同様旧市内地区（41.0%）で最も高くなっており、次いで錦田地区（38.5%）、中郷地区（33.6%）、北上地区（30.3%）となっている。

(2) 三島市の住みやすさ

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。

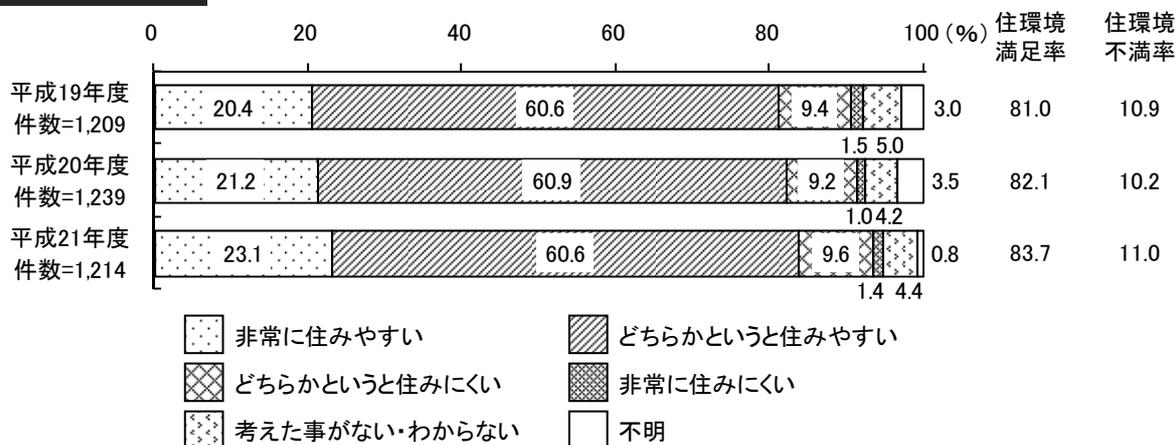
【1つに〇】

“住環境満足率”は83.7%



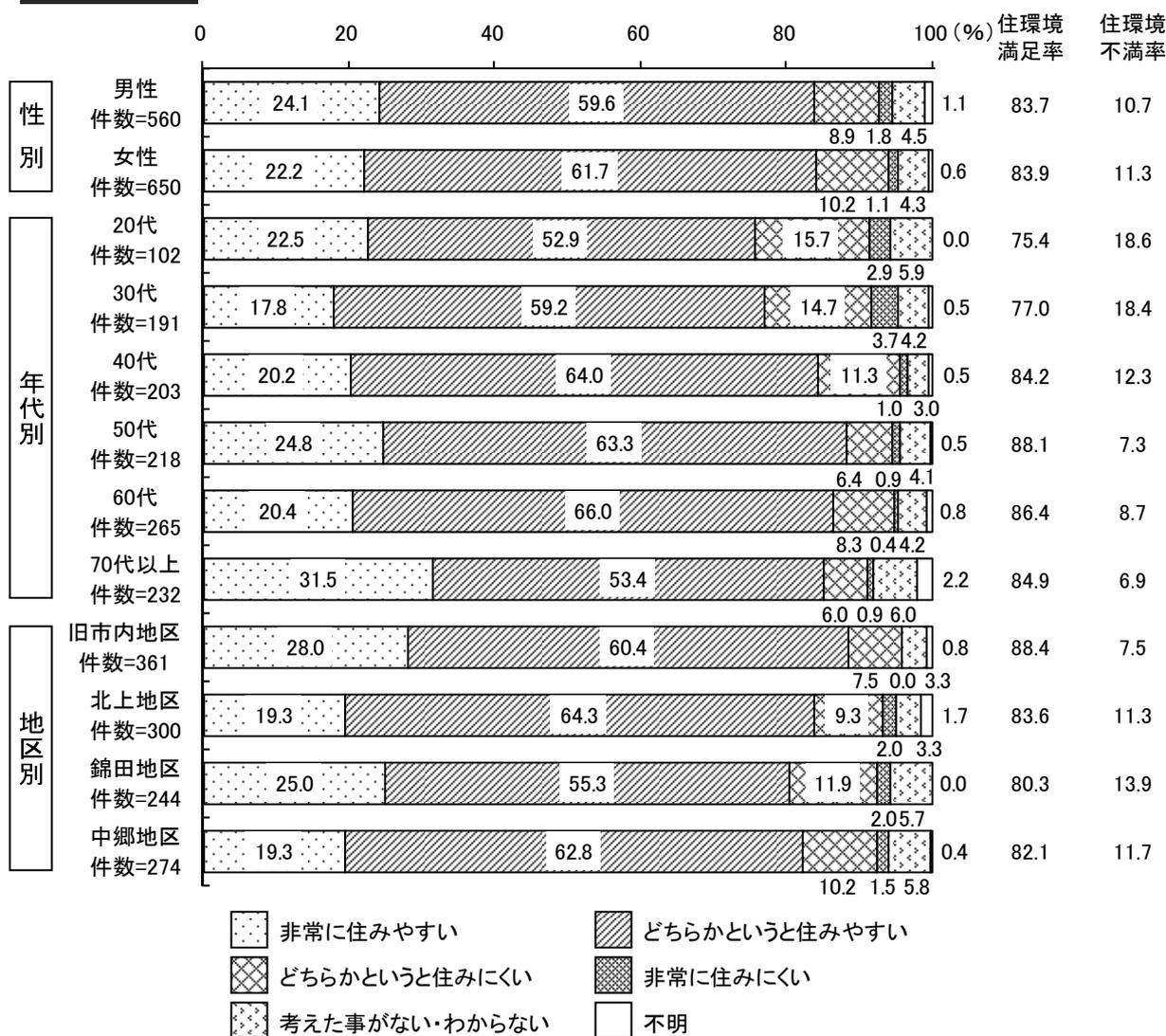
三島市が住みやすいかを聞いたところ、「非常に住みやすい」(23.1%)と「どちらかという住みやすい」(60.6%)を合わせた“住環境満足率”は83.7%であり、「どちらかという住みにくい」(9.6%)と「非常に住みにくい」(1.4%)を合わせた“住環境不満率”は11.0%であった。

時系列比較



“住環境満足率” (83.7%) は前回調査 (82.1%) に比べ増加し、平成19年度調査 (81.0%) 以降いずれの年度も8割台となっている。一方、“住環境不満率” (11.0%) は前回調査 (10.2%) に比べわずかに増加し、平成19年度調査 (10.9%) とほぼ同等の割合となっている。

属性別



性別

“住環境満足率”（男性：83.7%、女性：83.9%）で性別による大きな差は見られず、男女とも8割台となっている。

年代別

“住環境満足率”は50代（88.1%）、60代（86.4%）、70代以上（84.9%）、40代（84.2%）でいずれも8割台であったのに対し、30代（77.0%）及び20代（75.4%）では7割台にとどまっている。また、「非常に住みやすい」では70代以上（31.5%）で3割台と高く、50代（24.8%）、20代（22.5%）、60代（20.4%）、40代（20.2%）では2割台となっているのに対し、30代（17.8%）では唯一1割台にとどまり、他の年代と比較して低くなっている。

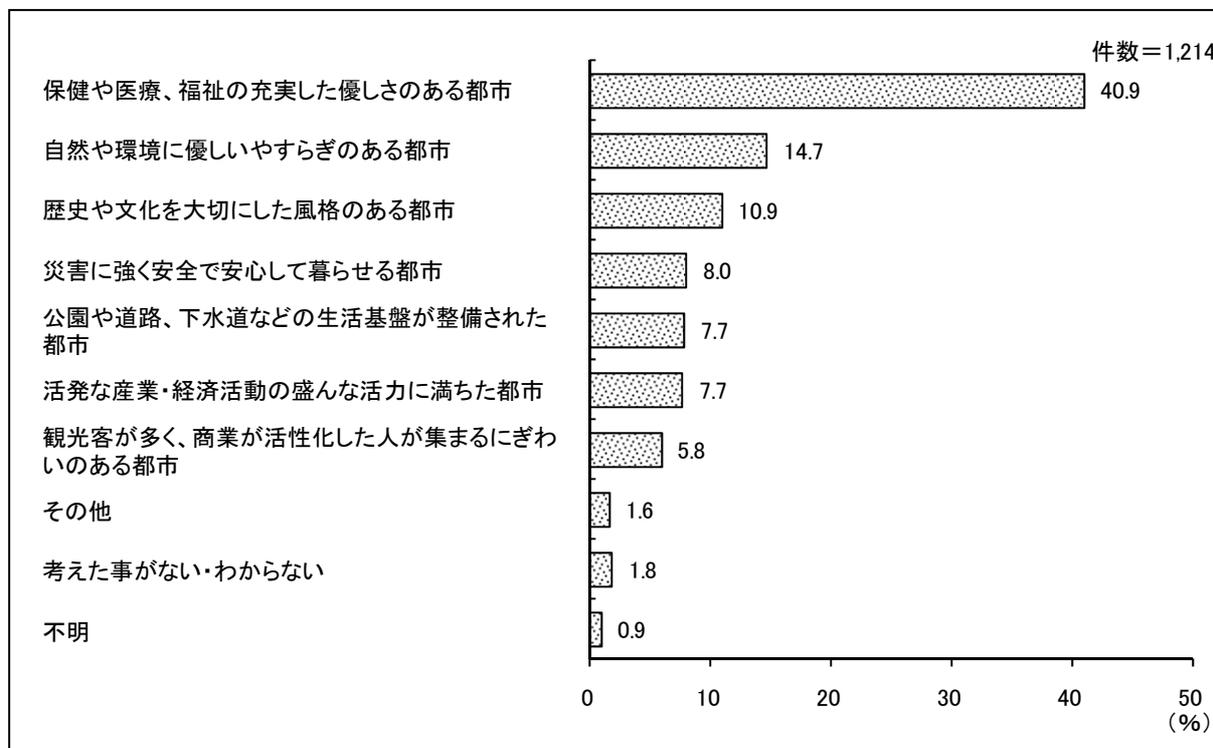
地区別

“住環境満足率”は旧市内地区（88.4%）で最も高く、次いで北上地区（83.6%）、中郷地区（82.1%）、錦田地区（80.3%）と続き、いずれの地区も8割台となっている。一方、“住環境不満率”では錦田地区（13.9%）、中郷地区（11.7%）、北上地区（11.3%）で1割台となっており、旧市内地区（7.5%）と差が見られる。

(3) 三島市の将来像

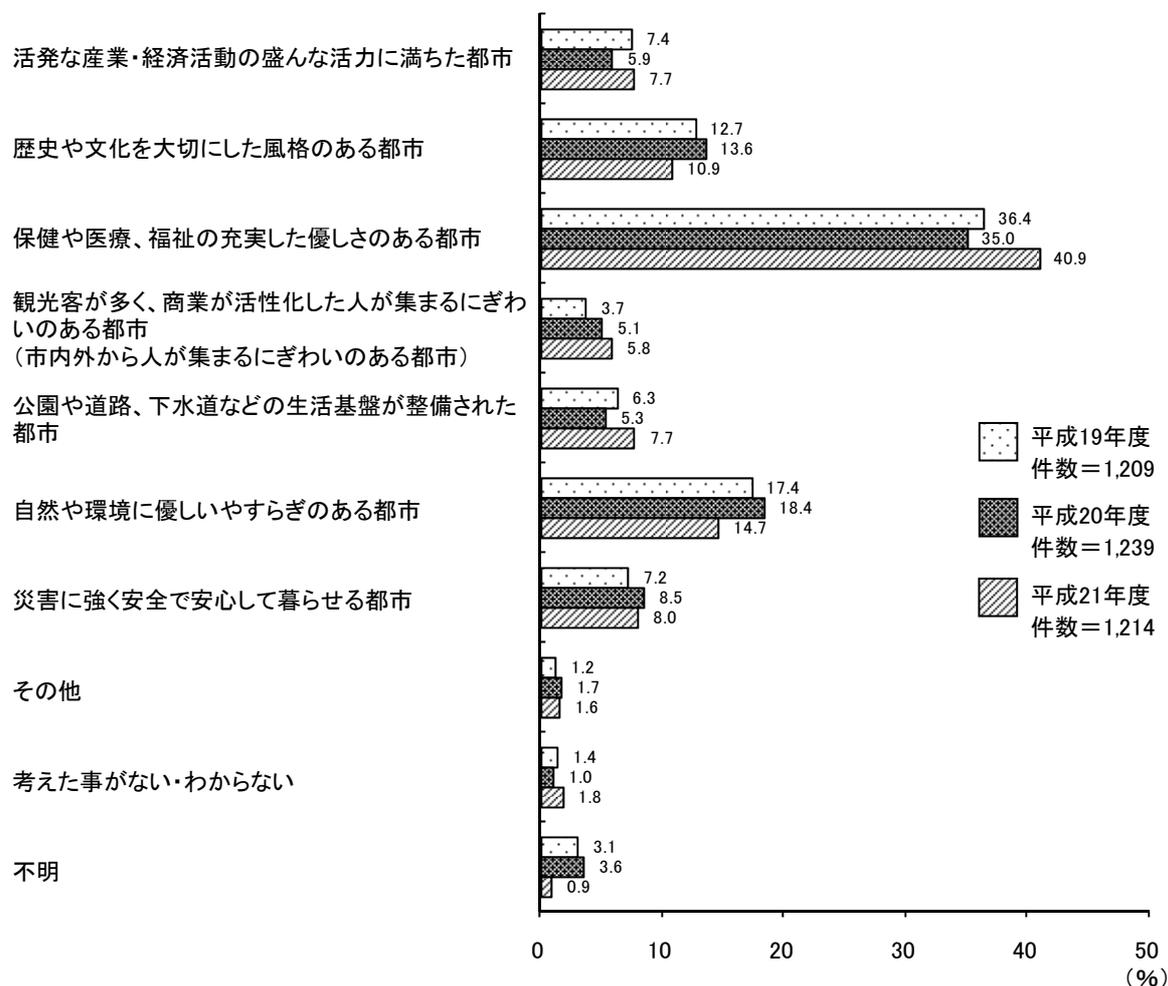
問3 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。 【1つに〇】

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が40.9%と最多



三島市の将来像について聞いたところ、最も多かったのは「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(40.9%)であり、4割台となっている。次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」(14.7%)及び「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」(10.9%)が続き、それぞれ1割台となっている。一方、最も少なかったのは「観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市」(5.8%)であった。

時系列比較



※「観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市」は、平成19年度及び平成20年度調査の「市内外から人が集まるにぎわいのある都市」と比較

いずれの年度も上位3項目は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」となっている。「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(40.9%)は前回調査(35.0%)に比べ5ポイント以上増加している。その他の項目では、平成19年度以降大きな変化は見られない。

属性別

		全体(件数)	市	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	歴史や文化を大切にした風格のある都市	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	その他	考えた事がない・わからない	不明
性別	男性	560	9.8	13.6	37.1	7.5	9.1	12.0	7.0	1.4	1.6	0.9	
	女性	650	5.7	8.6	44.3	4.5	6.6	16.9	8.8	1.7	2.0	0.9	
年代別	20代	102	12.7	10.8	23.5	6.9	13.7	16.7	5.9	5.9	3.9	0.0	
	30代	191	7.9	9.9	45.5	5.8	6.8	14.1	5.2	1.6	2.6	0.5	
	40代	203	6.4	10.3	37.4	6.4	9.4	14.8	10.8	1.5	2.0	1.0	
	50代	218	6.0	10.1	42.7	6.4	9.2	15.6	9.6	0.0	0.0	0.5	
	60代	265	6.8	10.2	49.8	6.4	4.5	11.7	7.9	1.9	0.8	0.0	
	70代以上	232	8.6	13.8	36.6	3.4	6.9	16.4	7.3	0.9	3.0	3.0	
地区別	旧市内地区	361	7.2	11.9	38.0	7.8	5.8	18.3	8.3	0.8	0.8	1.1	
	北上地区	300	7.0	10.0	42.7	3.3	10.3	15.3	8.7	1.0	1.0	0.7	
	錦田地区	244	7.8	10.2	45.9	7.4	8.2	10.2	4.5	2.0	2.5	1.2	
	中郷地区	274	8.4	10.6	39.4	5.1	7.7	13.1	9.5	2.6	3.3	0.4	

単位：%


 ■ : 1位 ■ : 2位 ■ : 3位

性別

男性、女性とも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」への回答が最も多いが、女性（44.3%）が男性（37.1%）を7.2ポイント上回っており、男女間で意識に差が見られる。

年代別

いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」への回答が最も多い。「活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市」及び「公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市」への回答は20代で他の年代と比較して多くなっている。また、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」への回答は40代（10.8%）で最も多く、最も少ない30代（5.2%）と差が見られた。

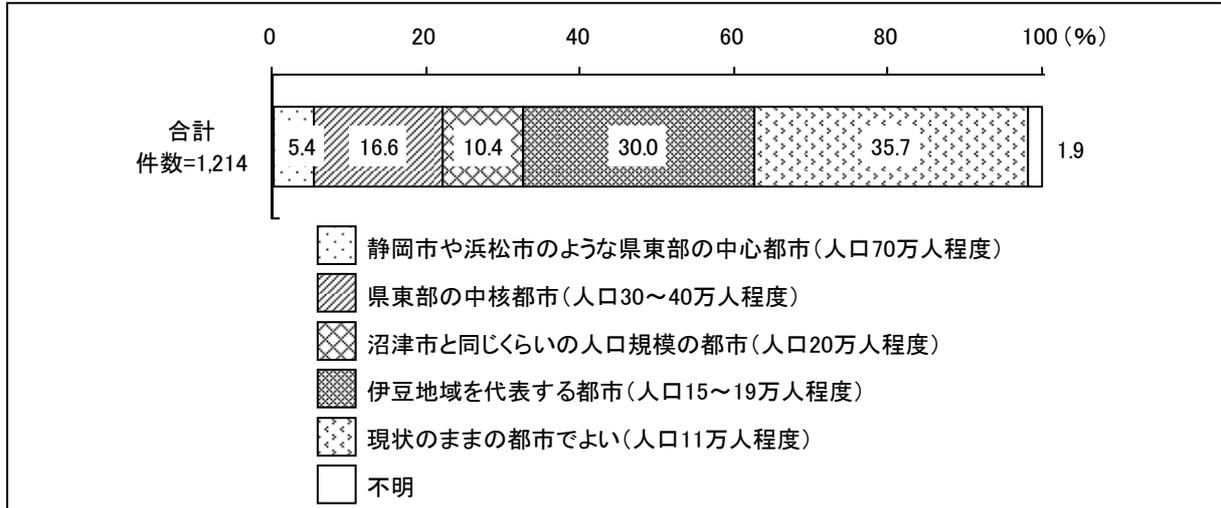
地区別

いずれの地区でも最も回答が多い「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」では、錦田地区（45.9%）の割合が他の地区と比べて高く、3割台にとどまる旧市内地区（38.0%）及び中郷地区（39.4%）と差が見られる。次いで多い「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」では、旧市内地区（18.3%）の割合が他の地区と比べて高くなっている。

(4) 将来の都市規模

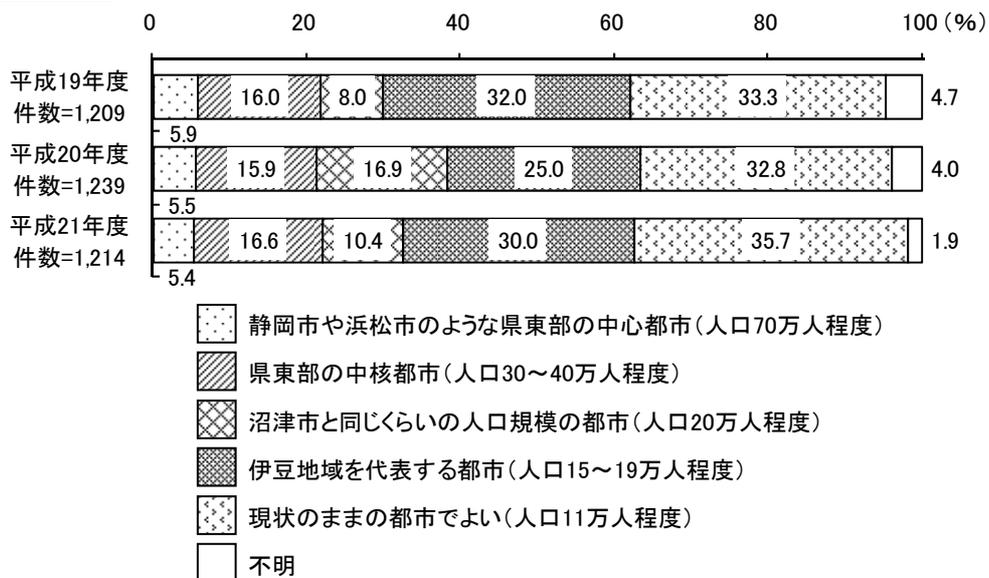
問4 あなたは、三島市を含むこの地域が将来どのような都市規模になることが望ましいとお考えですか。最も近いものを1つお答えください。 【1つに〇】

「現状のままの都市でよい」が35.7%と最多



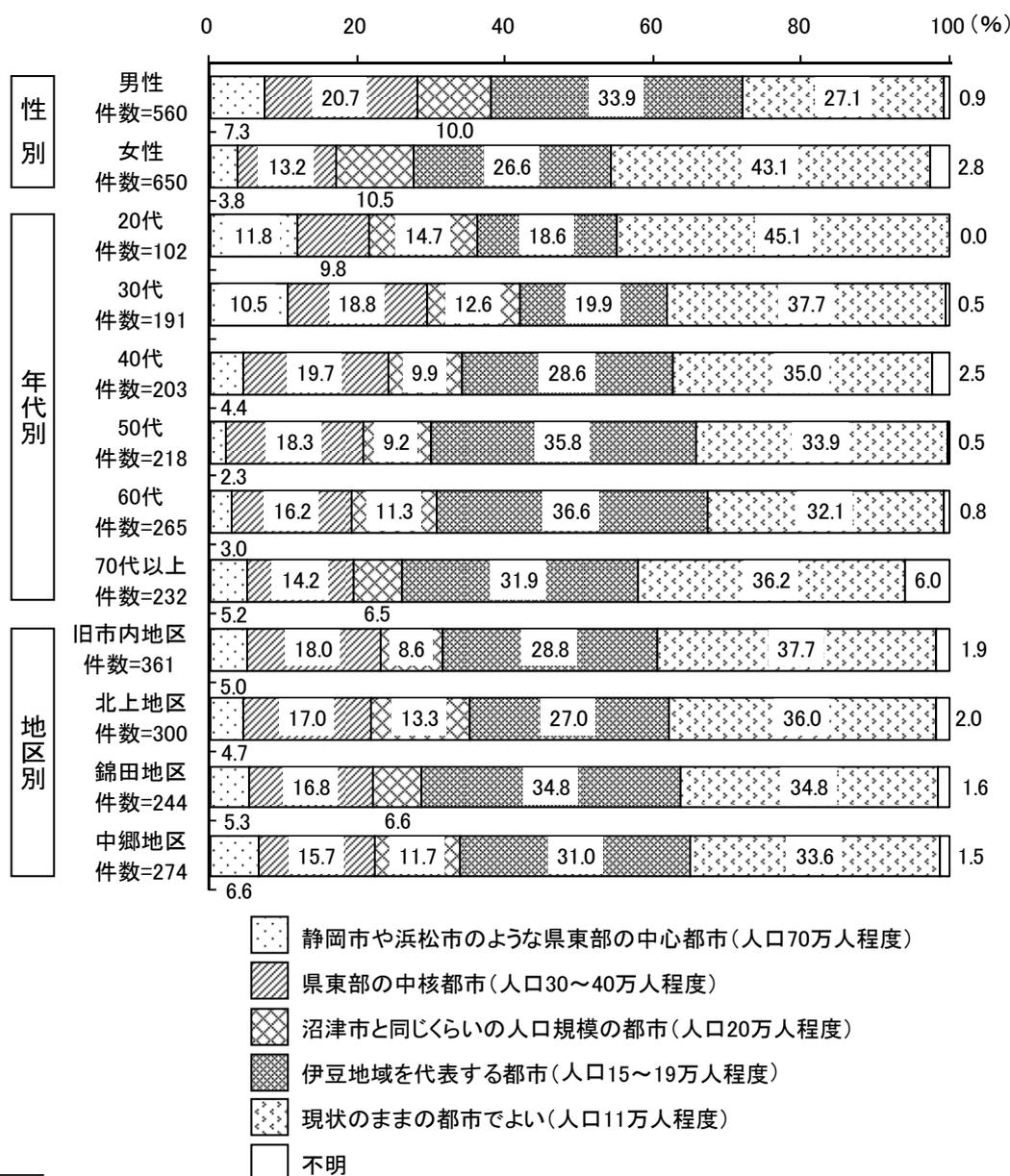
将来の都市規模について聞いたところ、「現状のままの都市でよい」(35.7%)が最も多く、次いで多い「伊豆地域を代表する都市」(30.0%)とで全体の半数以上を占めている。一方、人口20万人以上(県東部の中心都市、県東部の中核都市、沼津と同規模の都市を合わせた)の都市規模を望む声は全体の3割程度となっている。

時系列比較



「伊豆地域を代表する都市」(30.0%)が前回調査(25.0%)より5.0ポイント増加し、「沼津市と同じくらいの人口規模の都市」(10.4%)が前回調査(16.9%)より6.5ポイント減少している。平成19年度調査以降で見ると、全体としては大きな変化は見られない。

属性別



性別

男性で最も多いのは「伊豆地域を代表する都市」(33.9%)であるのに対し、女性では「現状のままの都市でよい」(43.1%)が最も多い。また、人口20万人程度以上の都市規模への希望は、男性が女性を上回っており、男性の方が都市規模の拡大を望む傾向が見られる。

年代別

「現状のままの都市でよい」が最も多いのは20代(45.1%)となっており、60代以下では年代が上がるほど割合は低くなっている(30代:37.7%、40代:35.0%、50代:33.9%、60代32.1%)。人口20万人程度以上の都市規模への希望は30代以上で概ね年代が高いほど割合は低い傾向となっている。

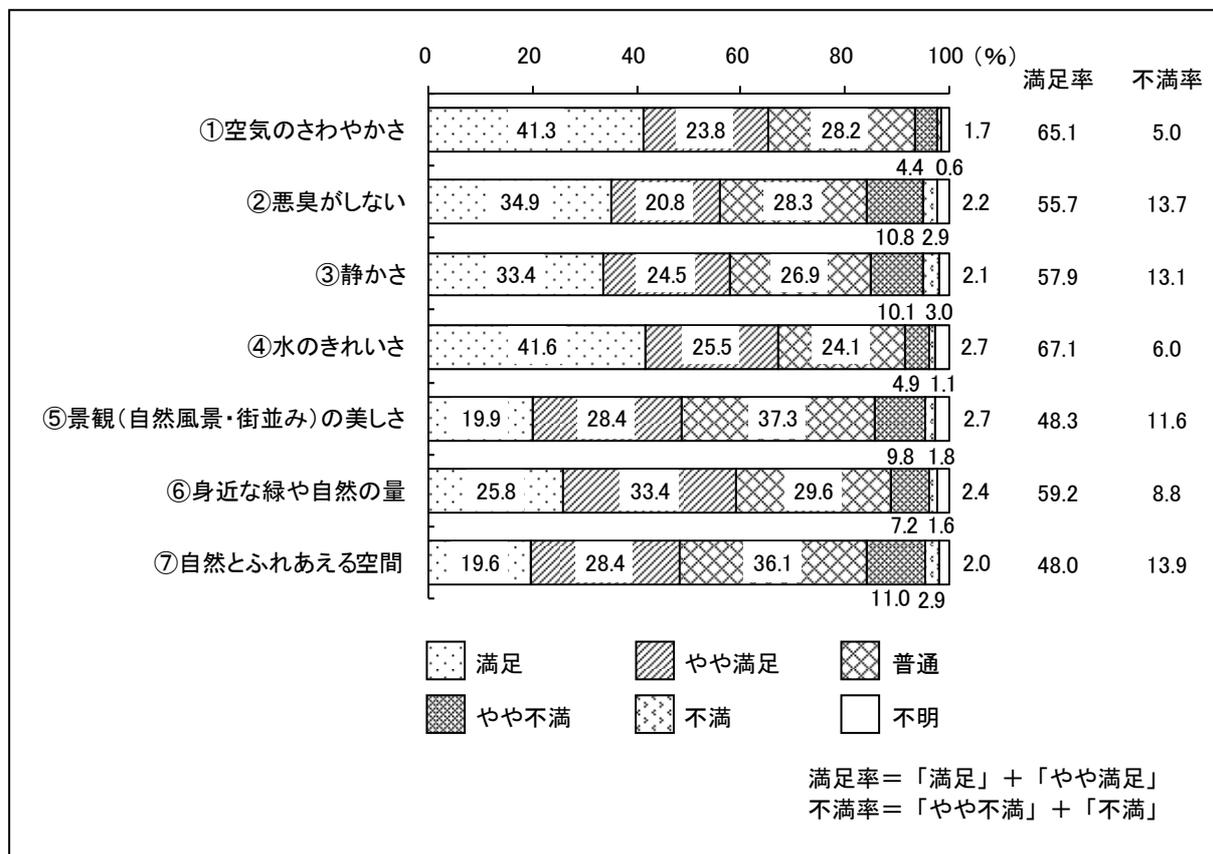
地区別

「現状のままの都市でよい」がいずれの地区でも3割台となっている。人口20万人程度以上の都市規模への希望は北上地区で最も多く、錦田地区で最も少ない。

(5) 生活環境の満足度

問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。①～⑦の各項目ごとに該当する番号を選んでください。 【各1つに〇】

「水のきれいさ」と「空気のさわやかさ」の“満足率”が6割台



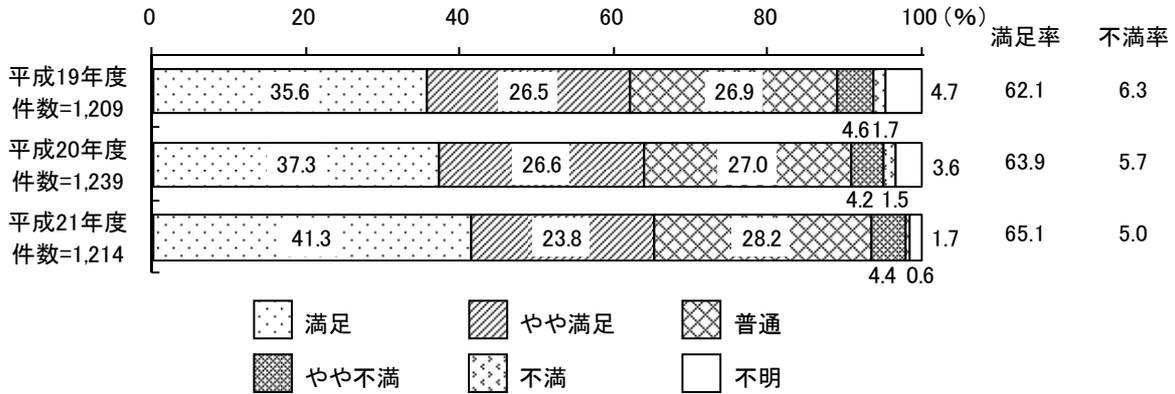
生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも“満足率”が“不満率”を上回っている。

“満足率”は「水のきれいさ」(67.1%)及び「空気のさわやかさ」(65.1%)で6割台と高く、以下「身近な緑や自然の量」(59.2%)、「静かさ」(57.9%)、「悪臭がしない」(55.7%)と続き、「景観(自然風景・街並み)の美しさ」(48.3%)及び「自然とふれあえる空間」(48.0%)では5割を下回っている。

一方、“不満率”を見ると、「自然とふれあえる空間」(13.9%)、「悪臭がしない」(13.7%)、「静かさ」(13.1%)、「景観(自然風景・街並み)の美しさ」(11.6%)で1割台となっている。

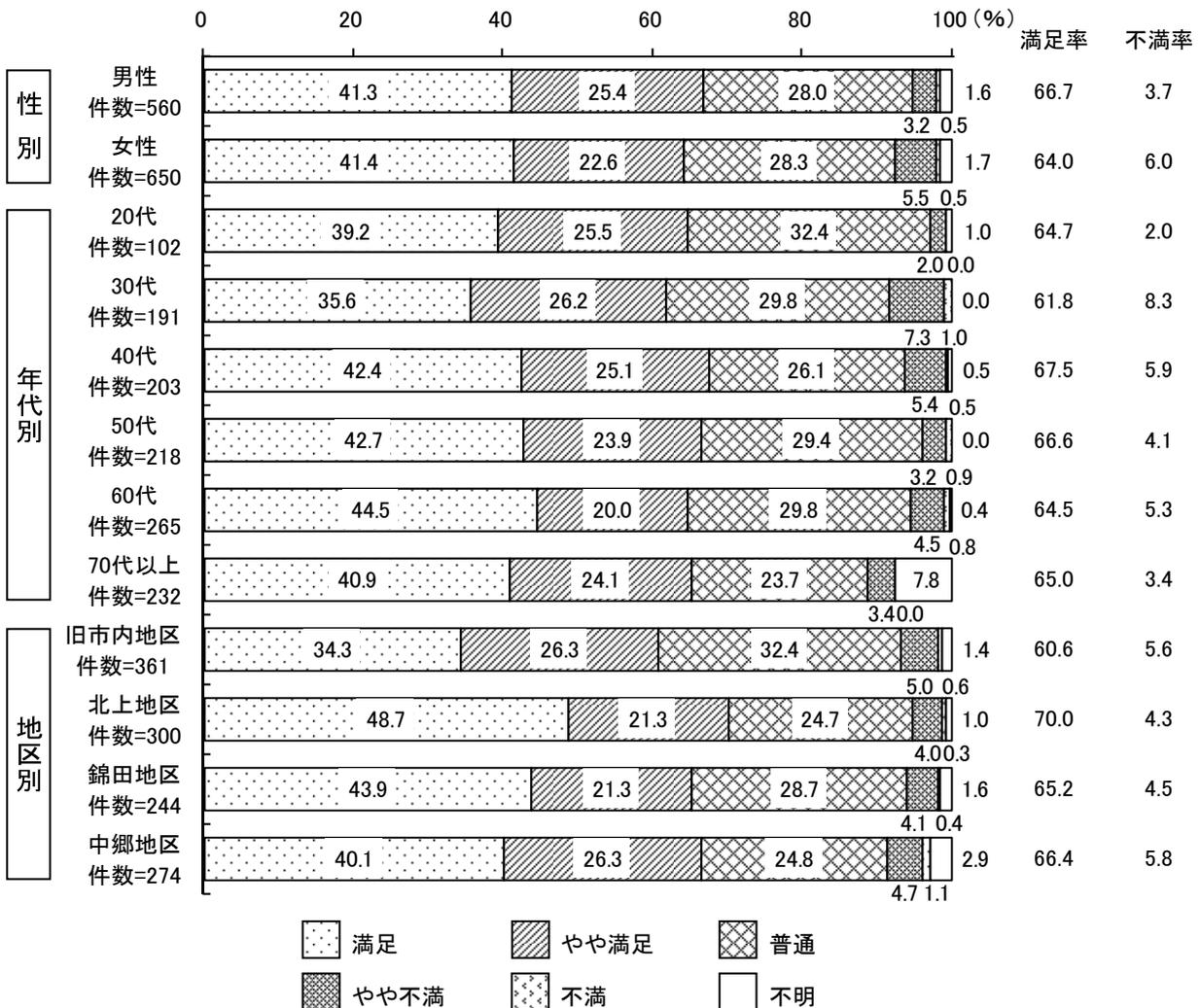
①空気のさわやかさ

時系列比較



“満足率”は平成19年度以降わずかずつながら増加しており、「満足」でみると平成19年度調査(35.6%)から平成21年度調査(41.3%)で5.7ポイント増加している。一方、“不満率”は平成19年度調査(6.3%)から平成21年度調査(5.0%)で1.3ポイント減少している。

属性別



性別

“満足率”は男性（66.7%）、女性（64.0%）で大きな差は見られない。

年代別

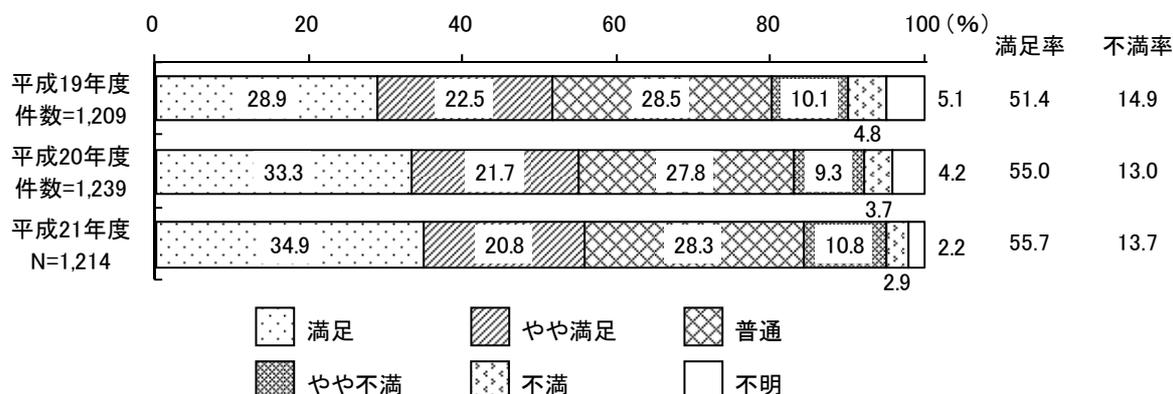
“満足率”はいずれの年代でも6割台（40代：67.5%、50代：66.6%、70代以上：65.0%、20代：64.7%、60代：64.5%、30代：61.8%）となっており、最も割合が高いのは40代となっている。

地区別

“満足率”は北上地区（70.0%）で最も高く7割台となっているのに対し、中郷地区（66.4%）、錦田地区（65.2%）、旧市内地区（60.6%）では6割台にとどまっている。また、「満足」の割合でみると、北上地区（48.7%）、錦田地区（43.9%）、中郷地区（40.1%）でいずれも4割台であるのに対し、旧市内地区（34.3%）の割合は3割台となっており、他地区との差が見られる。

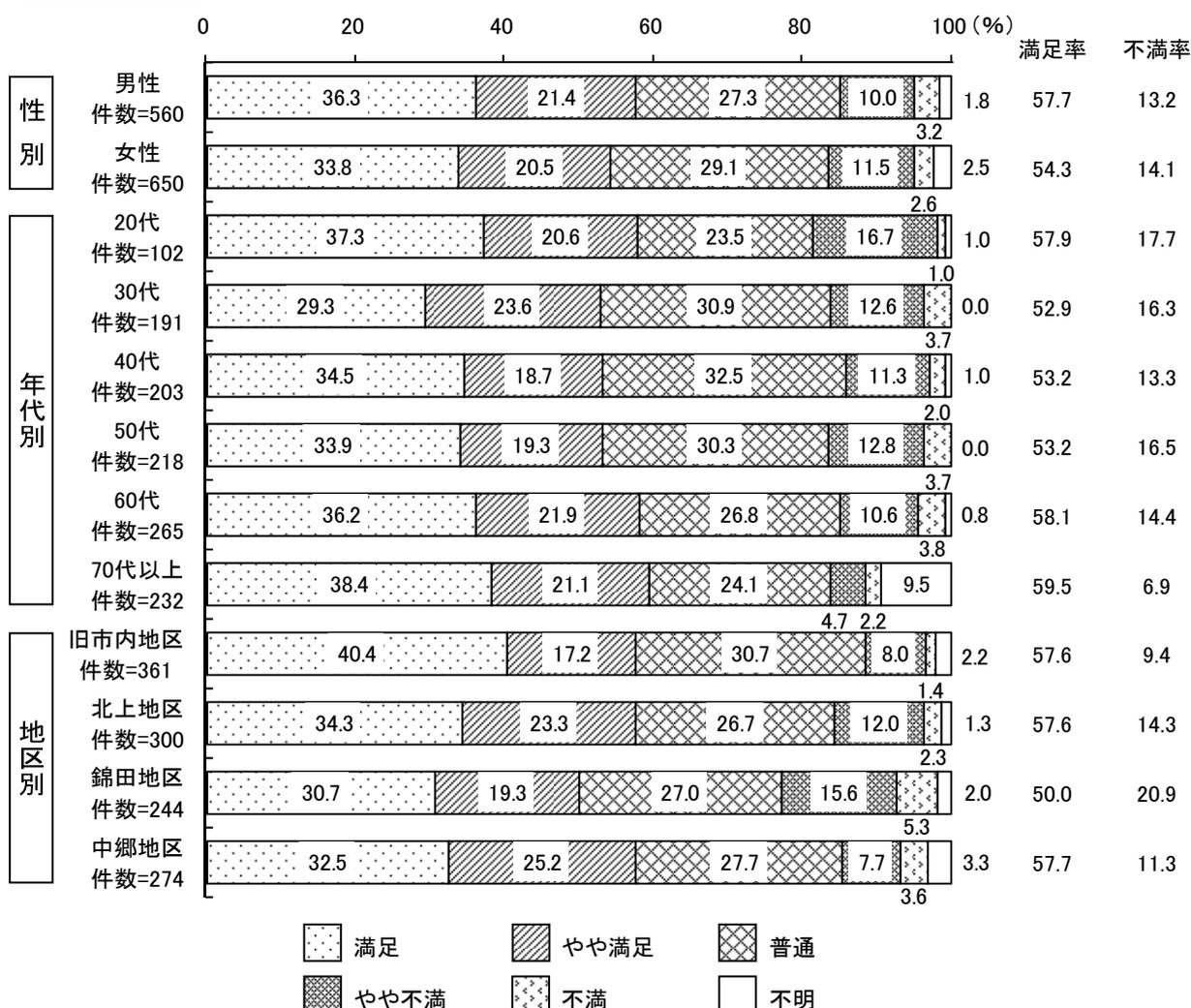
②悪臭がしない

時系列比較



“満足率”は平成19年度以降わずかずつながら増加しており、「満足」でみると平成19年度調査（28.9%）から平成21年度調査（34.9%）で6.0ポイント増加している。一方、“不満率”は平成19年度以降いずれも1割台となっており、大きな変化は見られない。

属性別



性別

“満足率”は男性（57.7%）、女性（54.3%）で大きな差は見られない。

年代別

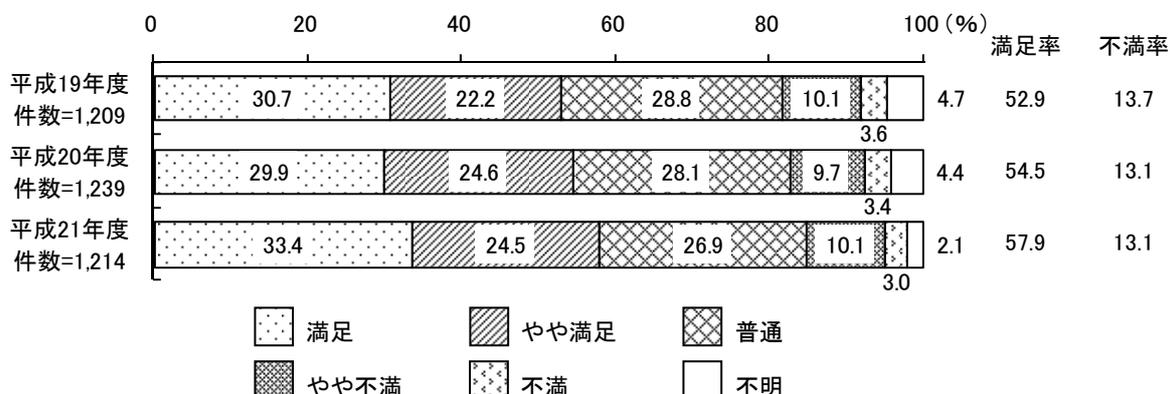
“満足率”はいずれの年代でも5割台（70代以上：59.5%、60代：58.1%、20代：57.9%、40代：53.2%、50代53.2%、30代52.9%）となっており、最も割合が高いのは70代以上となっている。

地区別

“満足率”はいずれの地区でも5割台（中郷地区：57.7%、旧市内地区：57.6%、北上地区：57.6%、錦田地区：50.0%）となっているなかで、錦田地区で他の地区と比較して低くなっている。また、「満足」の割合で見ると、旧市内地区（40.4%）で4割台であるのに対し、北上地区（34.3%）、中郷地区（32.5%）、錦田地区（30.7%）では3割台となっている。

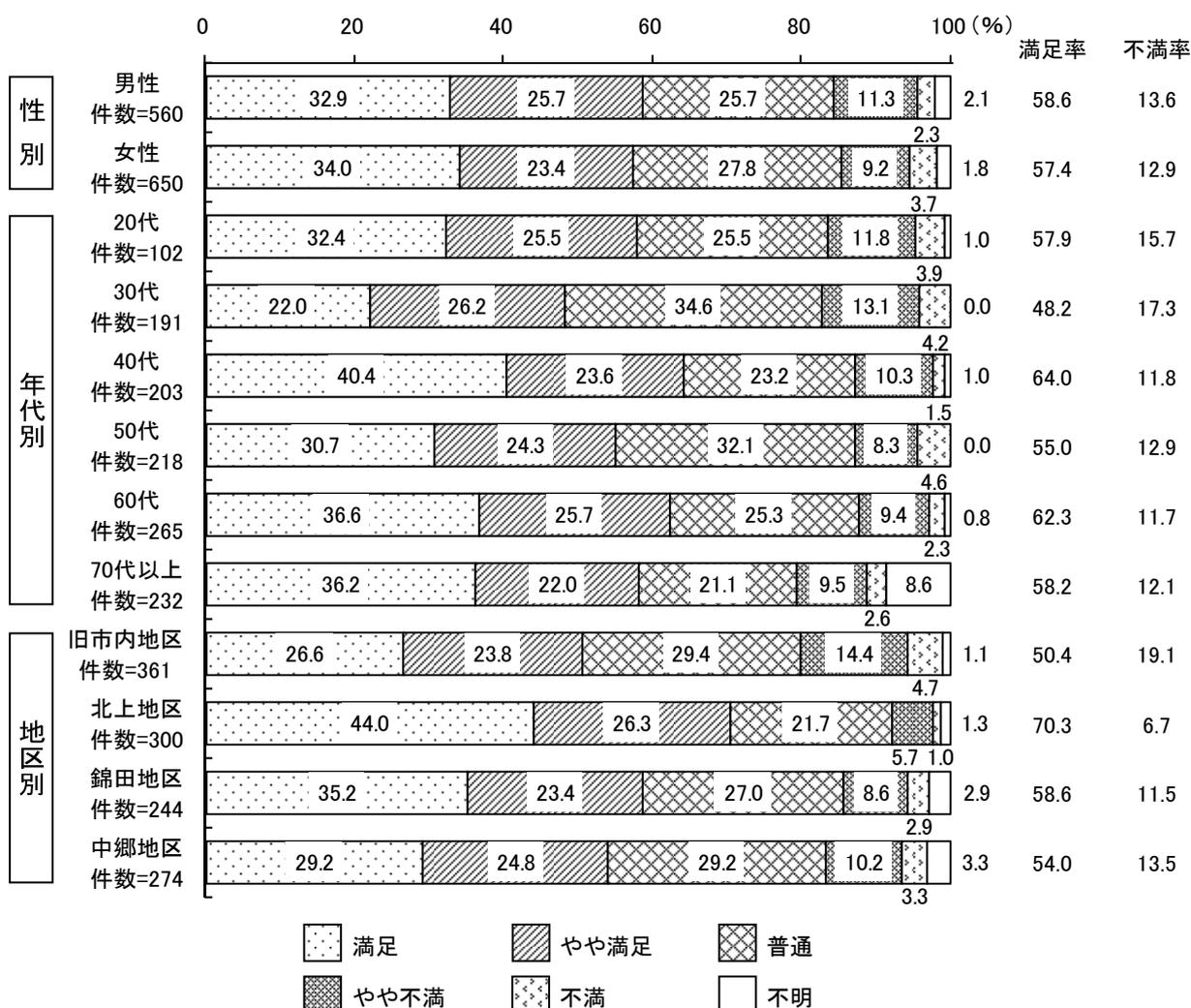
③静かさ

時系列比較



“満足率”は平成19年度調査（52.9%）から平成21年度調査（57.9%）で5.0ポイント増加している。一方、“不満率”は平成19年度以降いずれも1割台となっており、大きな変化は見られない。

属性別



性別

“満足率”は男性（58.6%）、女性（57.4%）で大きな差は見られない。

年代別

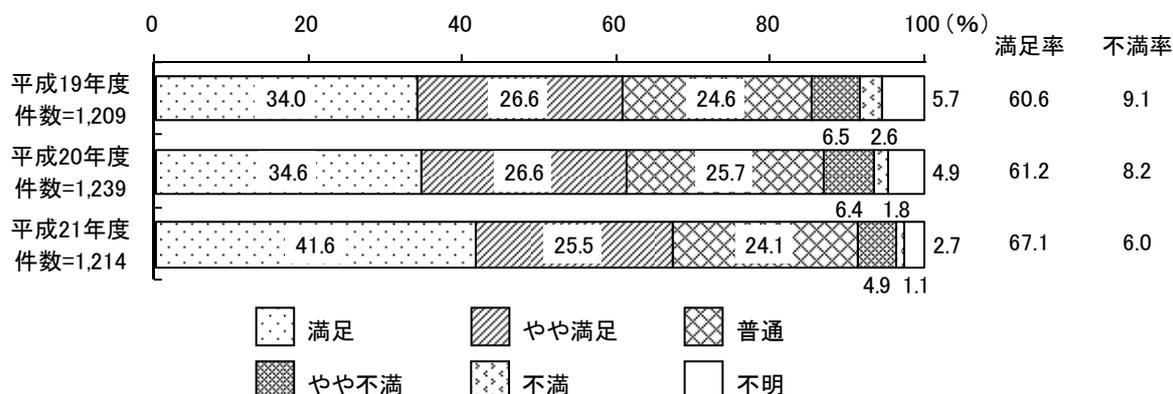
“満足率”が最も高いのは40代（64.0%）、次いで60代（62.3%）、70代以上（58.2%）、20代（57.9%）、50代（55.0%）と続き、30代（48.2%）で最も低く4割台にとどまっている。一方、“不満率”はいずれの年代でも1割台となっており、そのなかでも30代（17.3%）、20代（15.7%）で比較的割合が高い。

地区別

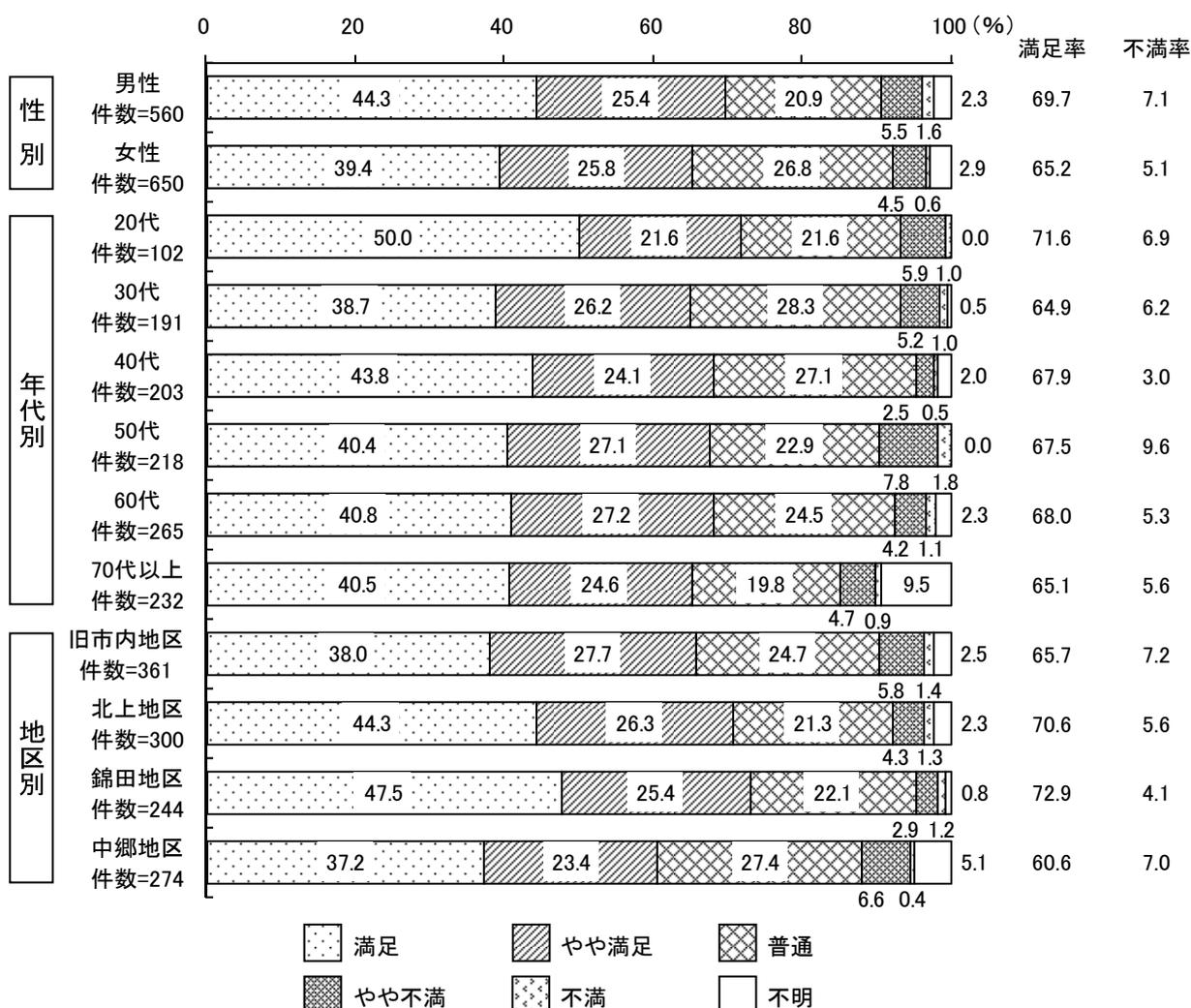
“満足率”が最も高いのは北上地区（70.3%）となっており、錦田地区（58.6%）、中郷地区（54.0%）、旧市内地区（50.4%）と10ポイント以上の差が見られる。また、「満足」でも北上地区（44.0%）が最も多く、次いで錦田地区（35.2%）、中郷地区（29.2%）、旧市内地区（26.6%）となっており、地区による差が見られる。

④水のきれいさ

時系列比較



属性別



性別

“満足率”は男性（69.7%）が女性（65.2%）をわずかに上回っている。

年代別

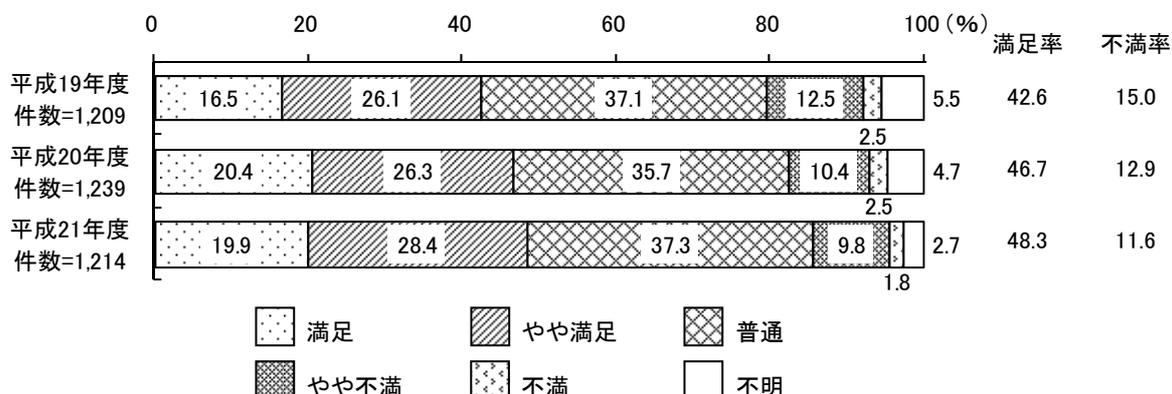
“満足率”が最も高いのは20代（71.6%）、次いで60代（68.0%）、40代（67.9%）、50代（67.5%）、70代以上（65.1%）、30代（64.9%）となっている。また、20代では「満足」の割合（50.0%）も他の年代と比較して高い。一方、“不満率”はいずれの年代でも1割未満となっている。

地区別

“満足率”は錦田地区（72.9%）及び北上地区（70.6%）で7割台と高く、旧市内地区（65.7%）及び中郷地区（60.6%）と差が見られる。また、「満足」でも錦田地区（47.5%）が最も多く、北上地区（44.3%）、旧市内地区（38.0%）と続き、最も少ないのは中郷地区（37.2%）となっている。

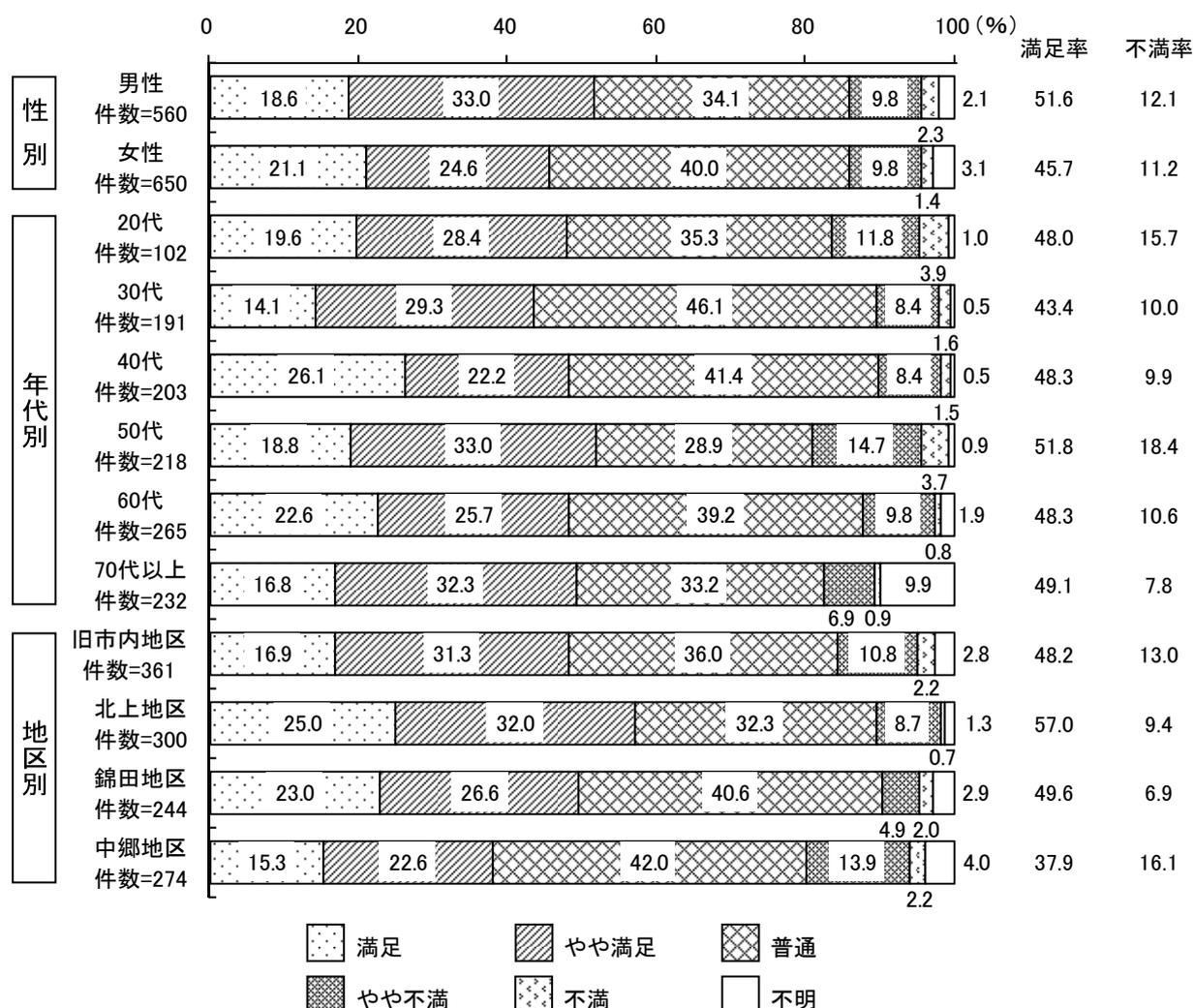
⑤景観（自然風景・街並み）の美しさ

時系列比較



“満足率”は平成19年度調査（42.6%）から平成21年度調査（48.3%）で5.7ポイント増加している。一方、“不満率”は平成19年度調査（15.0%）から平成21年度調査（11.6%）で3.4ポイント減少している。

属性別



性別

“満足率”は男性（51.6%）が女性（45.7%）を上回っている。

年代別

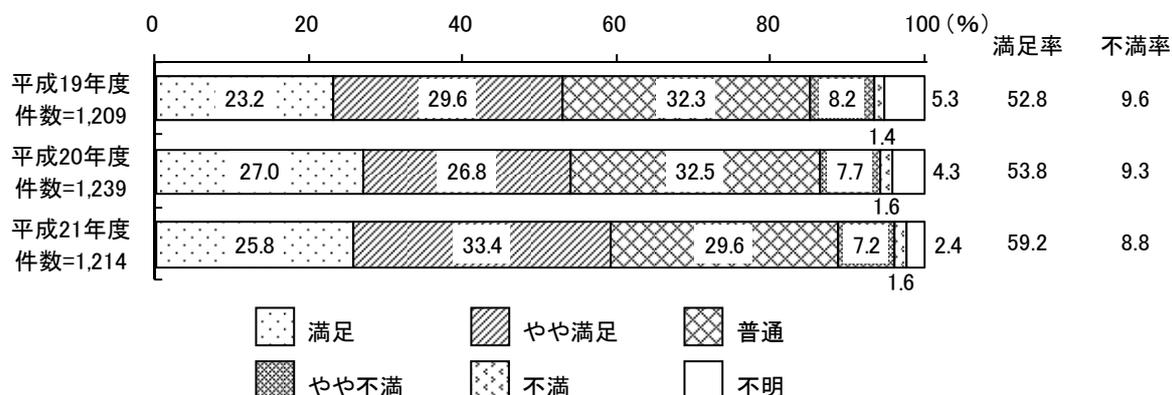
“満足率”が最も高いのは50代（51.8%）、次いで70代以上（49.1%）、40代及び60代（48.3%）、20代（48.0%）、30代（43.4%）となっている。一方、“不満率”は50代（18.4%）及び20代（15.7%）で他の年代と比較して高くなっている。

地区別

“満足率”は北上地区（57.0%）で最も高く、次いで錦田地区（49.6%）、旧市内地区（48.2%）、中郷地区（37.9%）となっており、地区による差が見られる。また、「満足」では北上地区（25.0%）及び錦田地区（23.0%）で2割台と高く、旧市内地区（16.9%）及び中郷地区（15.3%）と差が見られる。

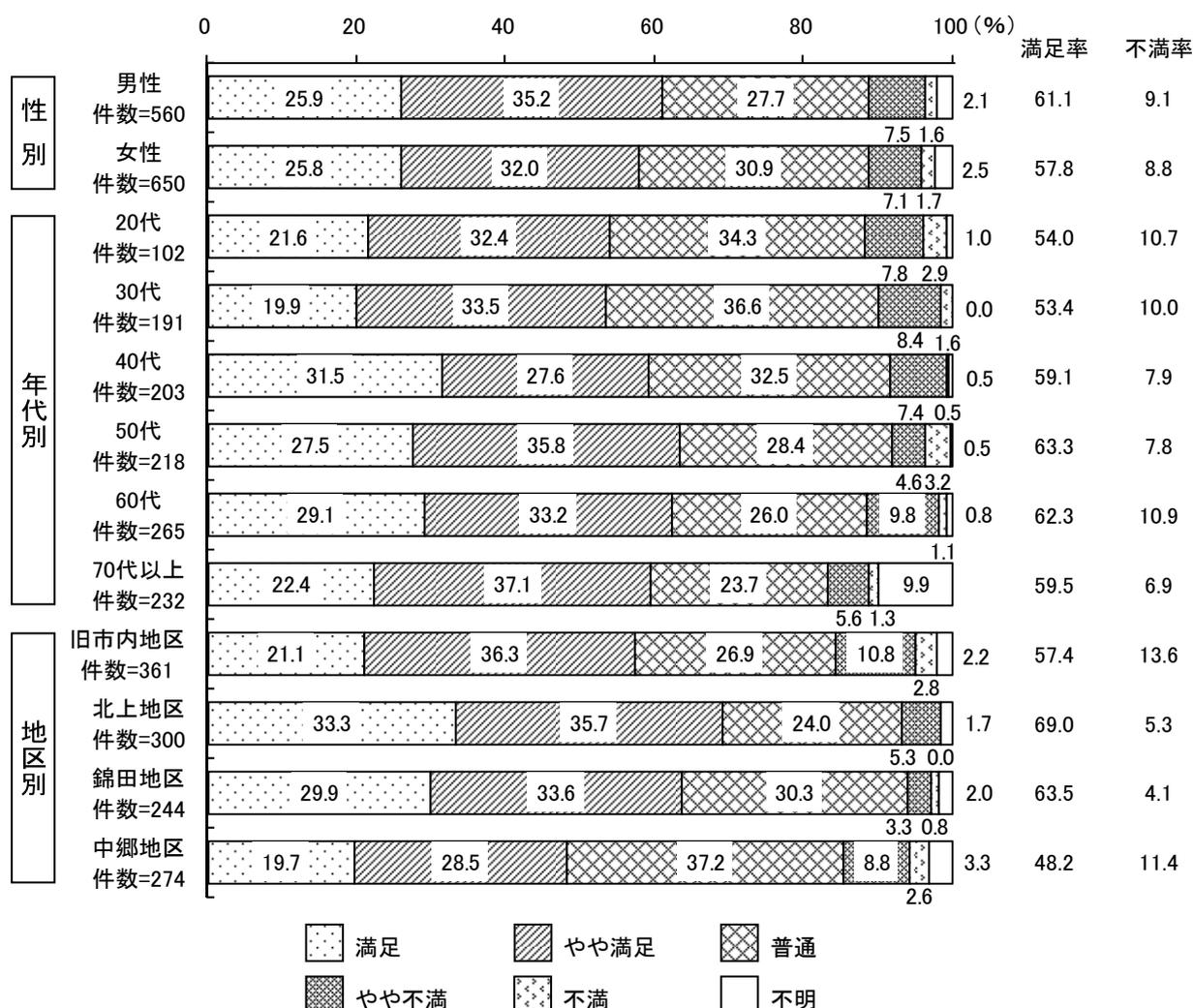
⑥身近な緑や自然の量

時系列比較



“満足率”は平成19年度調査（52.8%）から平成21年度調査（59.2%）で6.4ポイント増加している。一方、“不満率”は平成19年度調査（9.6%）から平成21年度調査（8.8%）で0.8ポイントとわずかに減少している。

属性別



性別

“満足率”は男性（61.1%）、女性（57.8%）で大きな差は見られない。

年代別

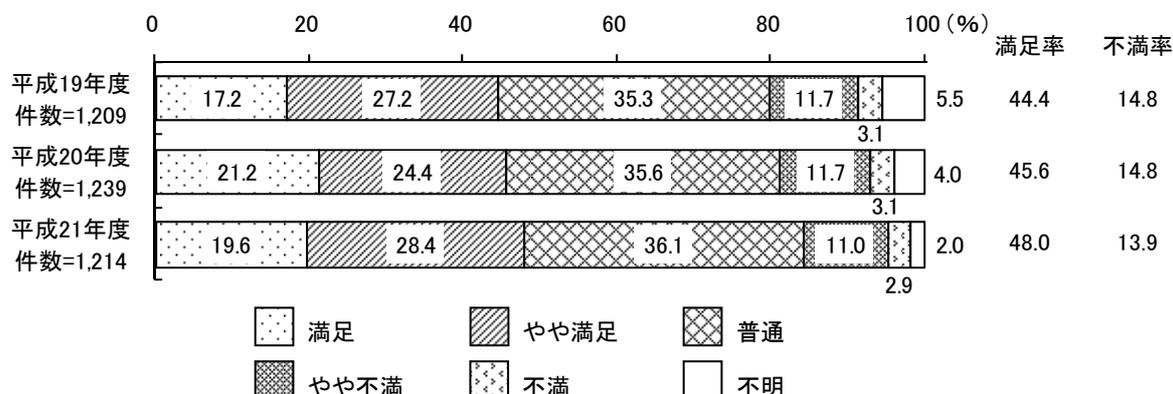
“満足率”は50代（63.3%）及び60代（62.3%）で6割台と高く、その他の年代では5割台にとどまっている。一方、“不満率”は60代（10.9%）、20代（10.7%）、30代（10.0%）で1割台となっている。

地区別

“満足率”が最も高いのは北上地区（69.0%）、次いで錦田地区（63.5%）、旧市内地区（57.4%）、中郷地区（48.2%）となっており、地区による差が見られる。一方、不満率では旧市内地区（13.6%）及び中郷地区（11.4%）で1割台と高くなっている。

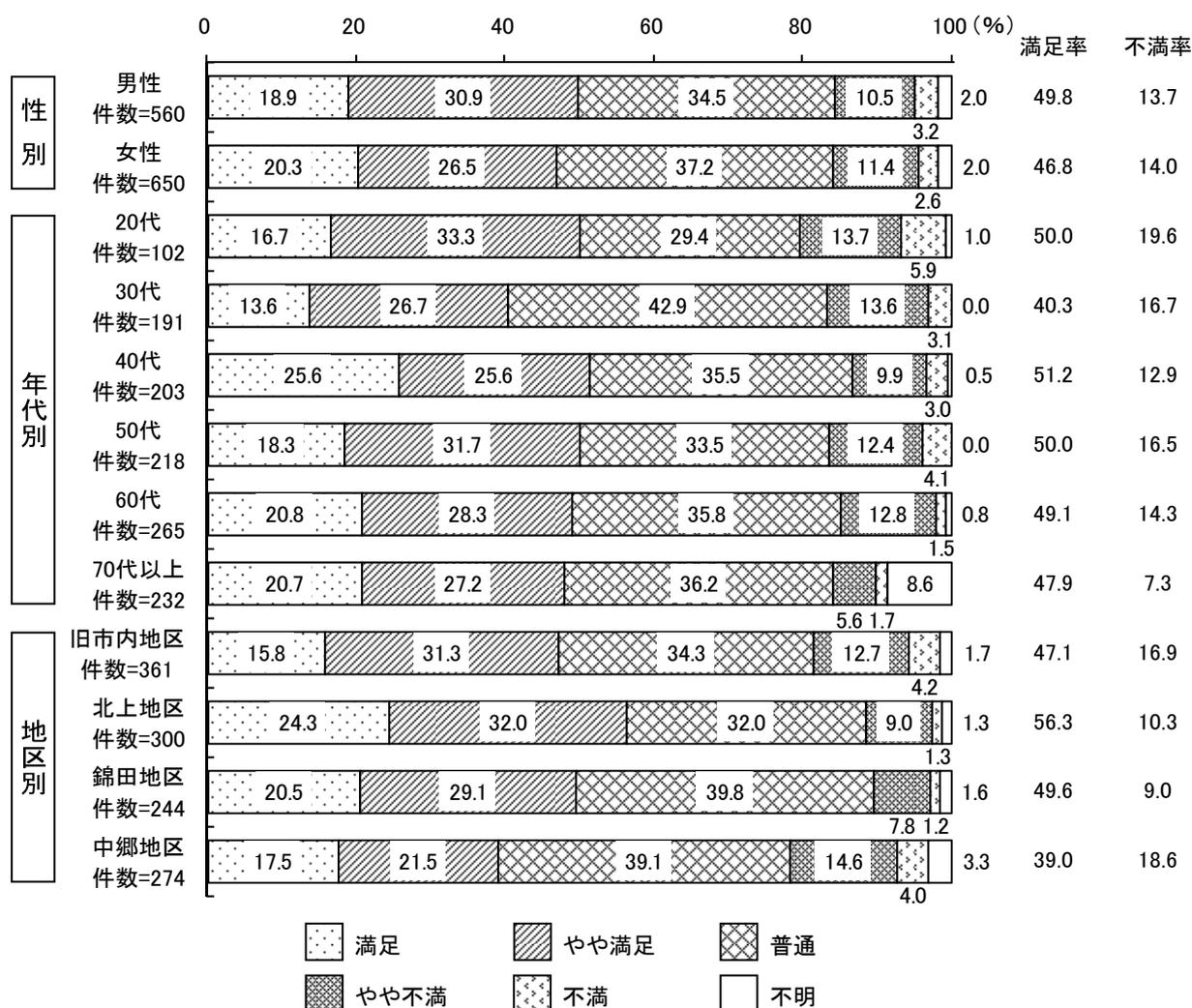
⑦自然とふれあえる空間

時系列比較



“満足率”は平成19年度調査(44.4%)から平成21年度調査(48.0%)で3.6ポイントとわずかに増加している。一方、“不満率”は平成19年度調査(14.8%)から平成21年度調査(13.9%)で0.9ポイントとわずかに減少している。

属性別



性別

“満足率”は男性（49.8%）、女性（46.8%）で大きな差は見られない。

年代別

“満足率”は40代（51.2%）で最も高く、次いで20代及び50代（50.0%）、60代（49.1%）、70代以上（47.9%）と続き、最も低い30代（40.3%）で他の年代と差が見られる。一方、“不満率”は70代以上（7.3%）以外の年代で1割台となっており、20代（19.6%）で最も高く、次いで30代（16.7%）、50代（16.5%）、60代（14.3%）、40代（12.9%）となっている。

地区別

“満足率”は北上地区（56.3%）で最も高く、次いで錦田地区（49.6%）、旧市内地区（47.1%）、中郷地区（39.0%）となっており、地区による差が見られる。一方、“不満率”は中郷地区（18.6%）で最も高く、旧市内地区（16.9%）、北上地区（10.3%）と続きこれらで1割台となっている。